

医療連携ニュース



かけはし

第78号 2024年 新春号

発行：独立行政法人 国立病院機構



災害医療センター
地域医療連携室



発行責任者：院長 大友 康裕

謹

賀

新

年



院長
おおとも やすひろ
大友 康裕

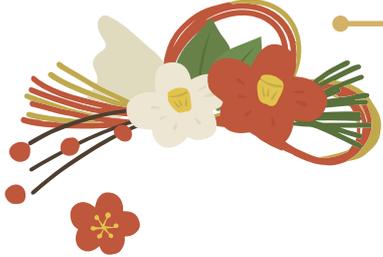
新年あけましておめでとうございます。院長の大友康裕でございます。昨年4月に院長を拝命してから9ヶ月が経過致しました。病院職員で一丸となって取り組ませて頂き、昨年一年を無事に終えることができましたこと、心から感謝しております。新たな一年を迎え、本年も、「いままでも、これからも。みなさまに愛される病院として」というスローガンのもと、地域医療の発展と、皆様の健康を守るために全力を尽くす所存です。

振り返れば、コロナ禍の4年間は私どもの病院の医療体制に多大な影響を与えました。この期間、地域の皆様の命を守るという社会的責務を果たすべく、コロナ診療に全力で対応致しました。その努力が国立病院機構から高く評価され、表彰を受ける栄誉に浴しました。しかしながら、コロナ診療に大きく軸足を置いた結果、地域の医療機関との繋がりを弱めてしまう結果となりました。ご紹介を頂いても、お受けできない状況となっていたからであります。これは、大変申し訳ないことだと思っております。現在はコロナの患者数が順調に減少し、ポストコロナの状況へと移り変わりました。折角、コロナが開けて、いよいよ地域の為に貢献したいと考えているところではありますが、残念ながら各診療科の紹介患者数は、コロナ以前に比べて少ない状態が続いています。今後は、このような事態を改善し、再び地域の医療のために貢献させて頂くことが、当院の使命であると認識しております。

このために、地域医療連携室を通じた従来の紹介システムを維持しつつ、より地域の医療機関の先生方に寄り添うために「プライオリティコール」という救急科の医師が直接電話に出るシステムを整えさせて頂きました。紹介の判断（今日が良いのか、明日で良いのか？）を迷う際や、診療の終わりに近い時間に受診された患者様の対応など、診療上お困りの事があればいつでもこのシステムをご利用いただけます。「こんなことで電話して良いのか？」とお考えにならず、どうぞお気軽にご利用ください。

新年を迎え、ポストコロナの時代においても、我々は地域医療への貢献を一層深め、地域医療機関の皆様と手を取り合いながら、患者様一人ひとりに合わせた最良の医療を提供し続けることをお約束します。今年も職員一同、日々の診療活動に全力を尽くして参ります。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



2024



明けましておめでとうございます



副院長 伊藤 豊

昨年までとは異なり医業収支を黒字計上し、新年を迎えます。紹介率は80%を越え、逆紹介率150%を超え、高度急性期病院の機能維持ができたことに深謝します。新年度当院の後期専攻医プログラム履修予定者が4名です。当院は救急医療、ストローク疾患対応、地域がん拠点診療等の役割があります。引き続き良き臨床医育成と良質な医療を提供します。



統括診療部長 上村 光弘

この4年間、新型コロナウイルス感染症により地域医療は試練にさらされ続けてきました。多くの傷を負いながらもなんとか乗り切れたのは先生方のご協力とご指導の賜物であると思われまます。今後も想定外な波が待っているかもしれませんが、災害医療センターは今までと同じく精一杯頑張る所存です。今年も何卒宜しくお願い申し上げます。



臨床研究部長 植竹 宏之

3年に及ぶコロナとの戦いが「一応の決着」をみました。当院だけでなく多くの医療機関、医療従事者が専門分野の追求よりもコロナとの戦いを優先した期間でした。今後当院では、臨床研究や学術的な活動を再び活性化させ、高度な医療を提供するとともに皆様が安心して受診できる医療機関でありたいと思います。



事務部長 萩原 隆

新年あけましておめでとうございます。
地域の医療機関の皆様には、日頃から大変お世話になり心から感謝申し上げます。
昨年は、4年ぶりに「地域医療連携の会」を開催でき、face to faceの重要性を再認識しました。
本年も職員一同、皆様のお役に立てる医療を提供できますよう精一杯努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。
新しい年が、皆様にとって輝かしい1年となりますようお祈り申し上げます。



看護部長 高見沢 愛弓

新年、あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
本年も病院職員一丸となって、地域の皆さま方が安心して暮らしていただけますように、医療・看護の面から支援をし続けたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。



総合診療科

医長 原 英則

お気軽にご相談ください。



血液内科

部長 関口 直宏

適切な診断と治療を患者さんと一緒に考えていきます。

今年もよろしく申し上げます。



腎臓内科

医長 河崎 智樹

保存器CKDから急性腎障害、透析診療まで積極的に行っております。今年もよろしくお願い致します。

膠原病・リウマチ内科

医長 満尾 晶子

地域の皆さま方と、竜吟虎嘯（りょうぎんこしょう）を目指たく存じます。リウマチ性疾患のご紹介、逆紹介ともにどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

脳神経内科

部長 大林 正人

脳梗塞急性期治療だけでなく、神経変性疾患・認知症の診断など幅広く対応しております。お気軽にご相談下さい。

呼吸器内科

医長 山名 高志

呼吸器系疾患全般に対応しております。特に肺癌や間質性肺炎に重点をおいて診療にあたっておりますが、疾患を問わずご相談ください。

循環器内科

部長 清水 茂雄

循環器一般や、24時間対応で循環器救急に努めてまいります。宜しくお願ひ致します。



消化器内科

医長 板倉 潤

今年もよろしくお願ひ致します。消化器と肝胆膵、良性から悪性まで全範囲の疾患に対応します。ESD、ERCPなど処置症例も大歓迎です。今年も皆様にとって良い年でありますように。

糖尿病・内分泌内科

医長 榛澤 望

糖尿病・内分泌疾患につきまして正確な診断、治療を行って参ります。ホルモン異常が疑われる際には是非ご相談ください。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

救命救急科

救命救急センター部長 長谷川 栄寿

北多摩西部地区唯一の救命救急センターとして親切で頼られるように努めます。今年も宜しくお願ひ致します。



消化器・乳腺外科

部長 若林 和彦 医長 山崎慎太郎
医長 寺西 宣央

ご紹介から2週間以内の治療方針の提示、2～4週以内の手術施行を堅持しております。またご迷惑をおかけしますが乳腺診療の再構築を行っております。何なりとご紹介ください。

整形外科

部長 松崎 英剛

骨折・外傷、脊椎疾患、関節疾患を中心に診療を行っております。その他の疾患にも積極的に対応しておりますのでご紹介よろしくお願ひ致します。

脳神経外科

部長 早川 隆宣

脳腫瘍、脳血管障害など各種疾患に対して、当科精鋭チームが手術、血管内治療を含め患者様に最適な治療を選択し行います。お気軽にご相談ください。今年もよろしくお願ひいたします。

形成外科

医長 藤原 修

外傷から皮膚皮下腫瘍、眼瞼下垂、難治性潰瘍、下肢静脈瘤他、質の高い医療を心掛けております。是非、ご相談ください。



呼吸器外科

医長 宮内 善広

肺がん・縦隔腫瘍・自然気胸に対する手術を中心として胸部外科一般に幅広く対応いたします。お気軽にご紹介ください。



心臓血管外科

医長 大井 啓司

心臓・血管疾患の、一層の医療サービス向上を目指し、地域の皆様、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

皮膚科

医長 宮崎 安洋

今年も皮膚科疾患に真摯に対応してまいります。

ご紹介をどうぞよろしくお願ひ致します。



泌尿器科

医長 野田 治久

泌尿器科全般に対応します。適切な治療をご提案できるよう心がけます。今年もよろしくお願ひ致します。

産婦人科

医長 長野 宏史

産婦人科は人員不足で初診予約が滞っており申し訳ありません。緊急時は極力対応しますので、連携室に連絡をいただくと幸いです。本年度も地域医療に貢献できるように精進します。

眼科

医師 野村 卓平

昨年8月より久保田医師が赴任し、常勤医2名体制に無事に戻りました。個々の患者様へのベストな診療を心がけております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

歯科口腔外科

医長 西村 敏

外来処置から入院手術、さらに入院患者さんの口腔ケアにまで対応していきます。本年もよろしくお願ひします。

放射線治療科

医長 岸 和史
医長 早川 和重

体幹部定位放射線治療、強度変調放射線治療をはじめ、様々ながん種に対して各診療科と連携して集学的に質の高い放射線治療を行っております。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

放射線診断・IVR科

部長 一ノ瀬 嘉明

新しくなったCT、MRI、血管造影装置を駆使しながら、今年も迅速かつ的確な画像診断、IVR（画像下治療）を目指して精進してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ペインクリニック外科

医長 白澤 円

急性～亜急性期の非がん患者さんを対象とした『痛みの外来』と認定看護師と共に『がん疼痛相談外来』を行っています。

耳鼻咽喉科

医長 大野 慶子

外来診療および入院・手術加療に幅広く対応しております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

麻酔科

部長 窪田 靖志

患者さんがストレスなく手術をお受けいただけるような麻酔・術中管理を心がけています。また術後の痛みに対する硬膜外麻酔やブロック麻酔なども行い快適な麻酔を提供します。

がん疼痛相談外来

医長 白澤 円
緩和ケア専従看護師 高井 野乃

コンサルテーション型ではありますが、がん患者さんを対象にからだのつらさを和らげ、がんの治療や療養生活に向き合い、じぶんらしくすごせるように支援しています。

健診部

健診部長 正岡 博幸

人間ドック・特定検診・各種がん検診（肺がん・乳がん・内視鏡）、脳ドック・骨粗しょう症ドックなど行っております。患者様へのご紹介など、本年も宜しくお願ひいたします。

薬剤部

薬剤部長 軍司 剛宏

私たち薬剤師はくすりの専門家として、顔の見える薬剤師を心掛け、より良い薬物治療に貢献します。そしてくすりあるところに薬剤師ありをめざし、更に地域と連携を図って参ります。

中央放射線部

診療放射線技師長 武田 聡司

診療放射線の安全管理、被ばく低減を心がけ、放射線診断科・放射線治療科との連携を密に、高品質な画像と高精度な治療を患者さんに寄り添って提供して参ります。

臨床検査科

臨床検査部長 平野 和彦
臨床検査技師長 山崎 茂樹

国際基準に準じた運用で臨床検査の精度確保と品質管理を徹底し、正確な検査結果を迅速に提供できるように努めてまいります。

リハビリテーション

理学療法士長 菅原 令子

患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、安全で確実、かつ良質なリハビリテーションを提供し、病院内のオアシスとなるようスタッフ一同日々努めてまいります。

臨床工学室

臨床工学技士長 佐藤 正道

各種医療機器および生命維持管理装置の操作と保守管理を通して安心安全な医療を提供するため臨床工学技士一同尽力して参ります。

栄養管理室

栄養管理室長 神谷しげみ

安心・安全でおいしい病院食の提供と、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った治療効果のある栄養食事指導や栄養管理をスタッフ一同努めて参ります。

地域医療連携室

地域医療連携室長 上村 光弘

地域をあげてコロナを乗り越えました。培われたキズナをより強くしてより良い連携をさらに目指していきます。



2023立川防災航空祭に参加しました!!

庶務班長 松尾 義彦

2023年10月29日(日)、陸上自衛隊立川駐屯地で「立川駐屯地創立50周年記念行事（航空祭）」が開催されました。今年は4年ぶりに一般公開で実施され、当院も立川広域防災基地の医療機関として参加しました。

立川広域防災基地とは、立川市緑町と泉町にまたがって所在する防災関係の施設が集約された広域防災基地です。首都圏で大規模災害が発生した際に、災害応急対策活動の拠点として機能します。ここには当院のほか、陸上自衛隊、東京消防庁、警視庁、内閣府などの防災関係施設があり、日頃から緊密な連携と訓練が行われ、災害時の救助などに大きな活躍をしています。

さて、航空祭では各防災機関のヘリコプターや災害救助車両を使った救助活動訓練が展示されました。当院からは、DMAT（医師・看護師・業務調整員）が首都直下地震の発災を想定した災害救助活動に参加し、被災者の救命活動を行いました。

また防災装備品の展示場では、「DMATカー・ドクターカー」、「災害非常食」、「災害派遣活動ポスター」の展示を行い、「健康相談（血圧測定等）ブース」や「CPR（心肺蘇生法）・AED体験コーナー」も開設しました。いずれも災害医療センターの活動を知っていただくとともに、地域の皆様との交流を深めることができ大変嬉しく思います。

今後も立川広域防災基地に設置された医療機関として、各防災機関と平時より連携を深め災害時に万全の準備をするとともに、皆さまに愛される病院を目指して、引き続き頑張っていきたいと思います。



災害医療センター医療連携の会を開催いたしました

統括診療部長 兼 地域医療連携室長 上村 光弘

2023年11月15日(水)、18時30分よりパレスホテル立川において北多摩西部医療圏等医師会及び関連医療施設をお招きして災害医療センター医療連携の会を開催いたしました。

実に3年半ぶりの満を持しての開催となりましたが、この間、地域医療は新型コロナウイルス感染症に翻弄されました。災害医療センターは独立行政法人国立病院機構法に基づき大幅なコロナ病床を確保しましたが、その反作用としての一般病床の大幅な減少とともに、時には1日最大欠勤職員数が1割に及んだりすることなどにも見舞われ、医療圏唯一の3次救急指定病院としての責務が果たせないこともしばしばでした。当院のみならず、それぞれの施設がそれぞれのお立場で大変な思いで過ごされてきたと思われまます。一方、地域における前方・後方連携の「絆」はコロナをきっかけに前よりは意識されてきているように感じられます。新型コロナウイルスが5類に移行した後、第9波も何とか乗り切り、受け入れ救急車数も飛躍的に伸び、災害医療センター本来の3次救急指定病院としての役割を果たせるようになりました。このような中、今回の連携の会を持ったわけですが、この数年間の地域全体への感謝の意を込めて、医師会の先生方とともに関連医療施設の先生方、スタッフの皆様、消防庁の方々にもお声をかけさせていただきました。

当日はクリニックより48施設76名、病院より30施設100名、消防庁より3名、そして当院より71名の参加があり、総勢250名の大きな会となりました。会では、当院との連携で紹介・逆紹介実績上位3位であったクリニック様、病院様への感謝状表彰を行わせていただくとともに、各医師会会長の先生方（立川市：村上幸人先生、武蔵村山市：半田宏一先生、東大和市：辻亮作先生、国立市：春日井啓悦先生）及び第八消防方面本部長、永野義武様より一言ずつ貴重なアドバイス、コメント、励ましのお言葉を賜りました。ご多忙の中ご参加いただいた先生方、関連施設様、消防庁様、ありがとうございました。ともにコロナを乗り切った地域医療連携の絆を再確認させていただけたとともに、今後よりいっそうの地域連携が推進されることを願ってやみません。



地域包括ケア研修 兼 ACP研修開催のご報告

地域医療連携係長 宮川 幸子

2023年12月14日(木)、地域の医療従事者、介護従事者、行政職員や福祉関係者の皆様を対象に地域包括ケア研修 兼 ACP研修『急性期病院と地域のACPへの認識の乖離について考える～より良い連携のために～』を開催いたしました。

当日は、院内外より94名の医師・歯科医師・看護師・社会福祉士・ケアマネジャー・自治体の関係者・大学講師の方々がご参加くださり、シンポジウムを開催しました。

シンポジウムは、立川在宅ケアクリニック 荘司院長のオープニングメッセージに始まり、立川在宅ケアクリニック 小西先生、にしき訪問看護ステーション 千葉先生、老援団幸町居宅介護支援事業所 峰岸先生、立川市北部西かみすな地域包括支援センター 倉嶋先生、立川市高齢福祉課 石垣先生、当院、救命救急医 高田先生、緩和ケアチーム専従看護師 高井先生、5階東病棟看護師長 赤沼先生、そして私がそれぞれの立場での思いをお伝えし、活発な議論が展開され時間が足りないほどでした。

今回の研修開催により、お互いの立場や思いを共有することや、答えが出ないながらも議論を続けていくことの重要性、対面での研修の楽しさを実感することができました。

開催にあたって、ご協力いただいた立川市医師会、立川市歯科医師会、立川市薬剤師会に感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。



当院へ多数ご紹介いただいている医療機関様

武蔵村山病院
東大和循環器科内科
渡辺眼科クリニック
近藤歯科クリニック
半田医院
東京西徳洲会病院
小林歯科クリニック
東大和病院
新小平クリニック
林整形形成外科
おおたか脳神経外科・内科
あい歯科クリニック
土橋脳神経外科
くどう歯科クリニック
MOREデンタルクリニック
立川駅前こばやし内科・胃と大腸内視鏡クリニック
たちかわファミリークリニック
公立福生病院
立川新緑クリニック
ながせ皮フ科
立川北口健診館
金光クリニック
佐藤秀昭内科医院
ゆうがお歯科医院
青梅市立総合病院
石井医院
メトロ歯科医院

鈴木慶やすらぎクリニック
昭島病院
立川相互ふれあいクリニック
浅見胃腸科外科医院
武蔵村山さいとうクリニック
アイエスクリニック
ふじの歯科医院
北立川歯科医院
あおば内科クリニック
クリニックファーレ
奥平クリニック
平原皮ふ科
ソラハレ歯科・矯正歯科
ことり歯科クリニック
こうた皮膚科・泌尿器科クリニック
東京都立多摩総合医療センター
かめい内科・外科クリニック
東大和てらだ歯科クリニック
立川北口駅前クリニック
山下皮膚科医院
川野病院
村山医療センター
セントラル歯科医院
若月歯科クリニック
クリニックみらい立川
立川相互病院
田島内科クリニック

立川クリニック
立川中央病院
小林医院
うしお病院
立川内科クリニック
砂川医院
やましたクリニック
岡部医院
国家公務員共済連合会 立川病院
しんクリニック
しらたま皮膚科クリニック
新城医院
ふじさわクリニック
くすのき内科クリニック
街のクリニック 立川・村山
平田循環器内科
藤井医院
あまり歯科
日野市立病院
立川若葉団地クリニック
ナビタスクリニック立川
永井産婦人科病院
メディカルボックス東大和
公立阿伎留医療センター
柏町内科・消化器内科クリニック
さいとう歯科医院

Information1

市民向けACP研修のお知らせ

かかりつけ医をもちましよう!!

- 日 時：2024年2月14日（水） 14：00～15：30
- 対 象：市民の方
- 場 所：災害医療センター 4階 地域医療研修センター
- 申し込み先：地域医療連携室 9：00～16：00
電話 042-526-5511（代表）

事前予約

Information2

がん相談支援センター がん患者の就労支援相談

- 日時：2024年3月14日（木） 9：30～12：00（1回45分／1日3名程度）
- 対象：がん患者・家族・企業の方々
- 場所：災害医療センター 1階 がん相談支援センター

事前予約・相談無料

次年度以降も奇数月の第2木曜日に開催予定です。

医療連携ニュース「かけはし」へのご意見ご感想をお待ちしております。ご連絡は地域医療連携室まで。



【地域医療連携室】
TEL：042-526-5613 FAX：042-526-5547
Eメール：216-renkei.shitsu@mail.hosp.go.jp